請求書処理 - 従業員の支払先へのアクセス権

ユーザー ガイド

最終更新日: 2014 年 8 月 22 日

以下のコンカー ソリューションに適用されます。

- ☐ Expense
  - ☐ Professional/Premium edition
    - ☐ Integrated with Professional/Premium Travel
    - ☐ Stand-alone
  - ☐ Standard edition
    - ☐ Integrated with Standard Travel
    - ☐ Stand-alone
  - ☐ Concurforce

- ☐ Travel
  - ☐ Professional/Premium edition
    - ☐ Integrated with Professional/Premium Expense
    - ☐ Integrated with Professional/Premium Request
    - ☐ Stand-alone
  - ☐ Standard edition
    - ☐ Integrated with Standard Expense
    - ☐ Stand-alone

- ☒ Invoice Management
  - ☒ Professional/Premium edition
    - ☒ Integrated with Professional/Premium Expense
    - ☒ Stand-alone
  - ☐ Standard edition
    - ☐ Integrated with Standard Expense
    - ☐ Stand-alone

- ☐ Authorization Request (formerly Travel Request)
  - ☐ Professional/Premium edition
    - ☐ Integrated with Professional/Premium Expense
    - ☐ Integrated with Professional/Premium Travel
    - ☐ Stand-alon

目次

セクション 1: アクセス許可 1

セクション 2: 概要 1

請求書処理における従業員の支払先へのアクセス権について 1

支払先へのアクセス権を使用する利点 2

使用の前に 2

必要なロール 2

定義 3

支払先の従業員グループの作成と割当: 主な概念 3

概要: グループ割り当てとユーザーが使用できる支払先 3

支払先および住所コードで支払先を複数のグループに割当 5

すべての支払先を AP ユーザー ロールに割り当てる 6

支払先を AP ユーザー ロールに制限する 7

ユーザー管理者への表示 7

従業員の支払先アクセス権インポートを使用する 8

支払先アクセス グループとグループの命名規則を考える 9

本ドキュメントで使用する命名規則 9

その他の文書 10

セクション 3: 請求書処理モジュールに従業員の支払先へのアクセス権を設定する 11

ステップの概要 11

ステップ: 請求書処理モジュールに従業員の支払先へのアクセス権を設定する 14

ステップ 1: リスト管理のソース リストを作成する 14

ステップ 2: 機能階層をソース リストに関連付ける 15

ステップ 3: グループ構成で支払先グループを指定する 16

ステップ 4: カスタム フィールドを従業員フォームに追加する 18

ステップ 5: 支払先のアクセス対応付けインポートを使用して支払先をグループに対応付ける 21

ステップ 6: ユーザーの支払先アクセス グループを選択する 23

© 2004–2016 Concur Technologies Inc. All rights reserved.

セクション 4: 支払先管理者への表示 24

セクション 5: ユーザーへの表示 25

新規支払先リクエストを作成した場合: 26

© 2004–2016 Concur Technologies Inc. All rights reserved.

改訂履歴

日付	注意事項/コメント/変更内容
2014 年 11 月 30 日	統合管理者がインポート/抽出管理者に変更されました。内容の変更はありません。
2014 年 9 月 18 日	2 種類のユーザー インターフェイスについての情報を追加しました。内容の変更はありません。
2014 年 8 月 22 日	従業員が送信済の支払リクエストの支払先を変更する際、許可された支払先にのみアクセスさせる新しい設定を追加しました。
2014 年 5 月 16 日	経費タイプとユーザーを特定の支払先に対応付けるため、住所コード値を使用できるようになりました。
2014 年 4 月 15 日	著作権と表紙を更新しました。その他の内容の変更はありません。
2012 年 12 月 28 日	商標を変更し、著作権を更新しました。内容の変更はありません。
2012 年 9 月 14 日	初版発行

© 2004–2016 Concur Technologies Inc. All rights reserved.

従業員の支払先へのアクセス

セクション 1: アクセス許可

ユーザーがこの機能へのアクセス許可を持っているかどうかは場合によります。たとえば、ある特定のグループに対してのみ操作が可能である、または特定の操作のみ使用できるなど（閲覧のみ可能で作成や編集は不可）、限定的なアクセス許可を持っている場合があります。

会社の管理者はこの機能を使用する必要がありますので、適切なアクセス許可を付与されていない場合は、社内の Concur 管理者に連絡してください。

さらに、このガイドに記されているいくつかの作業は、 Concur にて対応必須のものであることを管理者の方はご留意ください。作業が必要な場合は、Concur お客様サポートにサービスをご依頼ください。

セクション 2: 概要

請求書処理における従業員の支払先へのアクセス権について

請求書処理で従業員に対して支払先グループを指定して割り当てることによって、支払リクエストの作成時にユーザーが選択できる支払先を制限することができます。この方法で、ユーザーは基本的に割り当てられたグループ以外の支払先の使用が制限されます。

すべての支払先はそのグループに割り当てられているユーザーのグローバル グループレベルで利用可能です。一旦割り当てられると、支払先がグループ レベルで利用可能であることは変わりませんが、一対多の関係でひとつまたは複数のグループに割り当てられていることにもなります。これにより、支払先マネージャーは以下のことができます:

- **支払先で対応付け:** 支払先をインポートし、既定の経費タイプおよび/またはユーザーに対応付けることによって行います。

最終更新日: 2014 年 8 月 22 日
© 2004–2016 Concur Technologies Inc. All rights reserved.

- **支払先の住所コードで対応付け:** 特定の支払先について、支払先をインポートしたら住所コード値で識別し、経費タイプおよび/またはユーザーを対応付ける必要がある地域または部門の属性を付与することによって行います。

支払先へのアクセス権を使用する利点

これは、例えば最近会社を統合したため、支払先とユーザーの割り当てをシステムで強化して、サプライヤーを様々な部門に割り当てて使いたいというお客様に理想的なソリューションです。これは、セキュリティやプライバシーの観点から、支払先をユーザーに公開したくない場合にも役立ちます。また、この機能はユーザーに支払先を指示することによって、同じ名前の支払先が偶然または地域に存在する場合に、リクエスト作成時の間違いを防止します。

処理者の支払先選択を従業員の選択肢と一致させる制限

管理者は、処理者と従業員の支払先選択が一致するように設定することが可能です。処理者の選択できる支払先を従業員のアクセス権に基づいた選択肢に制限することにより、未承認の支払先が選択されることを回避することができます。

これは、**[管理]** > **[請求書処理]** > **[請求書処理設定]** にある、**[処理者と処理者のマネージャーロールを従業員の支払先アクセス リストに制限する]** で設定します。

📖 詳しくは設定ガイド「請求書処理の設定」をご参照ください。

使用の前に

この機能の使用をご検討の際は、本ドキュメントのこちらのセクションの説明、例、およびヒントをご確認ください。

必要なロール

この機能を設定するには、次のロールが必要です:

- **請求書処理の構成管理者:** リスト管理、グループ構成、および従業員フォームなどの、この機能に必要なモジュールを構成します。

© 2004–2016 Concur Technologies Inc. All rights reserved.

- **ユーザー管理者:** 従業員フォームで定義された支払先アクセス グループ フィールドに値を入力します。

定義

グループ: グループ構成で作成された「グローバル」などの名前を持つ支払先グループ（システムが作成）。これは、従業員グループや請求書処理グループに類似しています。

グループ パスまたは階層: すべてリスト化されたグループ階層。グローバル - 北部門 - 北西部門 - 北北西部門など。これは、請求書処理の他の機能と類似しており、連結リストを使用して作成されています。

支払先の従業員グループの作成と割当: 主な概念

以下の概念は、支払先グループの作成およびユーザーを支払先へのアクセス グループに割り当てるアプローチの構築にご活用いただけます。

概要*:* グループ割り当てとユーザーが使用できる支払先

最初にインポートされた時点で、すべての支払先は既定でグローバル グループに割り当てられており、支払リクエストを作成する時はグローバル グループに割り当てられているどのユーザーでも利用できます。従業員の支払先アクセス権を使うと、支払先をグループに割り当ててから、ユーザーをこのグループに割り当てることによってユーザーが選択する支払先を制限することができます。または、単一の支払先に対して複数の住所コードをインポートし、支払先に代わって支払先の住所コード変数をユーザーに割り当てることでも同様に制限することが可能です。そうすることで、住所コードによって北部門グループや特定の地域、部門グループに割り当てられたユーザーは、割り当て先のグループが利用できる支払先のみ表示されます。

支払先グループがユーザーのグループ レベルで割り当てられていない場合

グローバル - 北部門 - 北西部門 - 北北西部門のような階層グループを構成するとします。ユーザーが北北西部門の支払先グループに割り当てられている場合、そのグループに割り当てられているすべての支払先を利用できます。

© 2004–2016 Concur Technologies Inc. All rights reserved.

北北西部門に支払先グループが割り当てられていない場合は、階層を「昇って」、北西部門で利用可能な支払先グループを探しますが、そこでも支払先グループが定義されていない場合、さらに北部門へ「昇って」探します。その階層パスに指定のグループがない場合、ユーザーはグローバル レベルですべての支払先を利用することができるようになります。

例: ユーザーのグループ割り当てと利用できる支払先

ユーザーは、割り当てられた支払先グループ、および従業員フォームの支払先グループ階層フィールドを使用した割り当てに基づいて支払先を選択します。

- **指定の支払先グループへの支払先の割り当て**
  グループ構成で作成した指定の支払先グループと呼応する連結リスト値を使用して、支払先インポート割り当てを行うと、ユーザーが支払先を利用することができます。以下は、オンデマンドの従業員支払先アクセス インポートの例です（A は Add の略でグループへの追加を表します）：

	B	C	D	E	M
1	**Address Code**	**Level 1 Code**	**Level 2 Code**	**Level 3 Code**	**Action?**
2	ven1vendor				A
3	ven2vendor	NORTH			A
4	ven3vendor	NORTH			A
5	ven3vendor	NORTH	NORTHWEST		A
6	ven4vendor	NORTH	NORTHWEST		A
7					

  Erin がグローバル - 北部 - 北西部に割り当てられているとすると、そのレベルのすべての支払先が選択可能です。つまり、Erin は支払先 3 (ven3vendor) および支払先 4 (ven4vendor) から選択できます。

- **ユーザーのグループ割り当て**
  ユーザーは、自身のグループに割り当てられたどの支払先でも選択できます。そのレベルで利用可能な支払先がいない場合、システムはレベルを「昇り」、次のグループ レベルの全ての支払先を表示します。

  例: グローバル - 北部 - 北西部 - 北北西部というグループ パス があります。Erin は北北西部グループに割り当てられている ため、以下の支払先から選択できます。

© 2004–2016 Concur Technologies Inc. All rights reserved.

グループ パス ノード:	Erin の選択肢:
北北西部	このノードの全ての支払先。Erin は支払先とグループを共有しているため、ここからどの支払先でも選択できます。
...このレベルに支払先がない場合:	
北西部	このノードの全ての支払先。北北西部レベルに割り当てられている支払先がないため、上の階層にある支払先を表示します。
...このレベルに支払先がない場合:	
北部	上記同様、このノードの全ての支払先。北西部レベルに割り当てられている支払先がないため、上の階層にある支払先を表示します。
...このレベルに支払先がない場合:	
グローバル	上記同様、このノードの全ての支払先 - 北部レベルに割り当てられている支払先がないため、上の階層にある支払先を表示します。

支払先および住所コードで支払先を複数のグループに割当

支払先の割り当てグループ数に制限はありません。単一の支払先を複数の支払先グループに割り当てることができます。以下のワークシートで、支払先 3 (ven3vendor) は、グローバル - 北部と、 グローバル - 北部 - 北西部支払先グループの両方にそれぞれ行 4 と 5 で割り当てられています:

	B	C	D	E	M
1	**Address Code**	**Level 1 Code**	**Level 2 Code**	**Level 3 Code**	**Action?**
2	ven1vendor				A
3	ven2vendor	NORTH			A
4	ven3vendor	NORTH			A
5	ven3vendor	NORTH	NORTHWEST		A
6	ven4vendor	NORTH	NORTHWEST		A
7					

これにより、異なるグループ割り当てのユーザーでも同じ支払先を利用することができます。

© 2004–2016 Concur Technologies Inc. All rights reserved.

住所コード値を使用して支払先を割り当てる

ユーザーへの支払先アクセスを地域またはその他の属性に直接対応付ける場合は **[住所コード]** 列を使用します。たとえば、ACME 社はヨーロッパ大陸中に支店を持っているとします。リクエストの作成時にユーザーが地域の支払先を選択する代わりに、一意の住所コード値を同じ支払先名の値に対してインポートすることにより、直接地域属性に対応付けます。

下の図で、支払先 3 は、インポート後に北および北西レベルの両方に対して、ユーザーまたは経費タイプへの対応付けが可能です。

A	B	C	D	E	M
Vendor Code	**Address Code**	**Level 1 Code**	**Level 2 Code**	**Level 3 Code**	**Action?**
Vendor1	ven1vendor				A
Vendor 2	ven2vendor	NORTH			A
Vendor 3	ven3vendorNorth	NORTH			A
Vendor 3	ven3vendorNWest	NORTH	NORTHWEST		A
Vendor 4	ven4vendor	NORTH	NORTHWEST		A

このような、1 つの支払先が複数の住所に割り当てられる 1 対多の関係は、**[既定の経費タイプを管理]** および **[支払先対応付けリスト]** タブのオプションによって、支払先レベルだけではなく支払先に指定された住所コード値というサブレベルでも割り当てに対応可能であることを意味します。

すべての支払先を AP ユーザー ロールに割り当てる

リクエストの作成と割り当てに AP ユーザー ロールを使用する集中型の請求書処理モデルを採用する場合、このユーザーはすべての支払先にアクセス可能なことが望ましいでしょう。これを行うには、次の 2 つのオプションがあります:

- **AP ユーザーをグローバル グループ内に配置:**
  グローバル グループに所属するユーザーはすべての支払先が利用可能であるため、AP ユーザーをこのグループに割り当ててすべての支払先を利用できるようにします。
- **AP ユーザーへの割り当て用に空の支払先グループを作成:**
  階層を「昇る」ため、グローバルの直下に支払先グループ（グローバル - 空）を作成します。このグループにインポートされる支払先がないため、既定ですべての支払先が割り当てられているグローバル グループへと到達させることができます。

© 2004–2016 Concur Technologies Inc. All rights reserved.

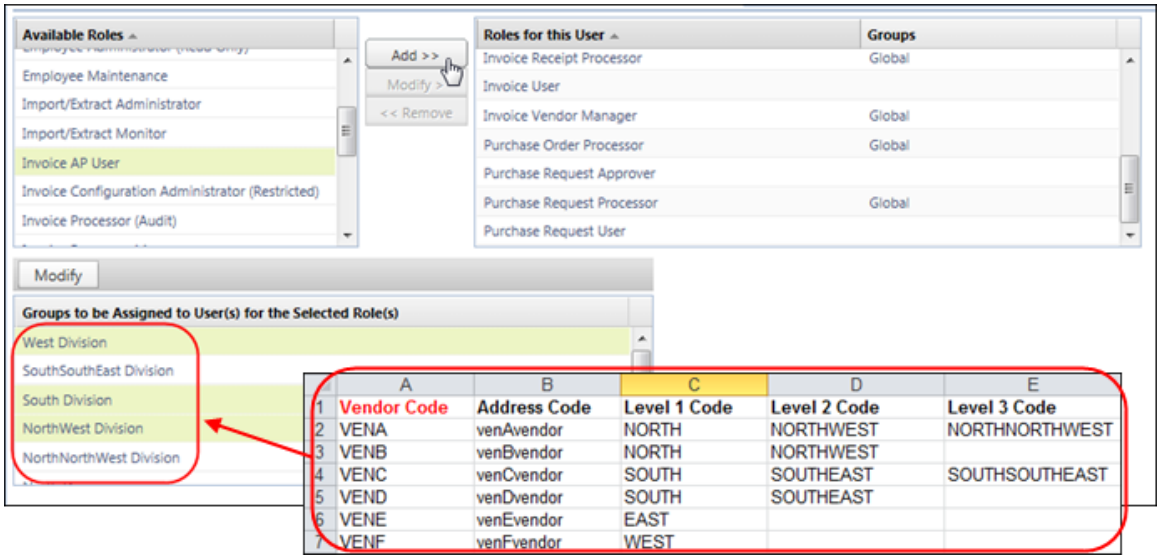
支払先を AP ユーザー ロールに制限する

支払先の割り当てに基づいて、 AP ユーザー ロールが利用できる未割り当ての支払リクエストを制限したい場合は、ユーザーのアクセス許可ツールまたは従業員インポートの 400 レベル レコード セットのいずれかを使用して、AP ユーザーを支払先グループに関連付けることができます。

AP ユーザー ロールは支払先に基づいてグループを認識しているので、このロールの割り当てと支払先グループの選択により、AP ユーザーは支払先に基づいたリクエストのみを扱うことができます。同様に、例のように地域でも割り当てることができます。

ユーザー管理者への表示

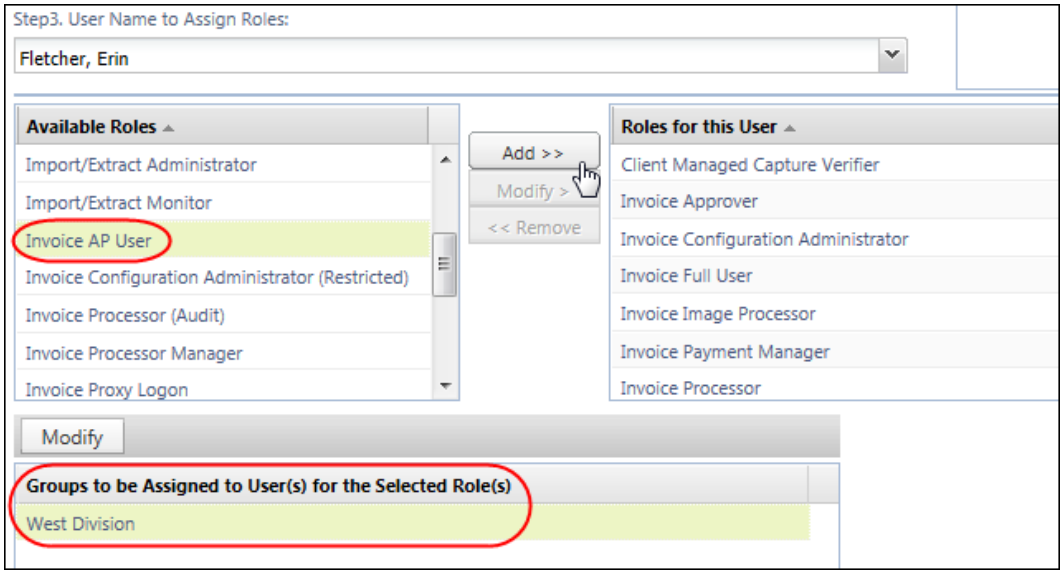
ユーザー管理者ロールが、ユーザーに請求書処理の AP ユーザー ロールを割り当てる時、**[選択したロールのユーザーに割り当てるグループ]** オプションが表示されます。下図のように、XLS インポートには階層と単一または複数のグループに割り当てられた支払先が含まれています。



これらのグループは、会社の階層の構成を表しており、その関連によって支払先が割り当てられている地域（上記の例）や AP ユーザーが割り当てられている地域を決定します。

下図では、 Erin Fletcher は 支払先 F （VENF）に割り当てられています。したがって Erin はこの支払先のみを利用することができます。

© 2004–2016 Concur Technologies Inc. All rights reserved.



📖 さらに詳しい情報は、「請求書処理: AP ユーザー ガイド」および「請求書処理: 支払先マネージャーユーザー ガイド」をお読みください。

従業員の支払先アクセス権インポートを使用する

グローバル グループに属するすべての支払先、かつインポートにより支払先グループに割り当てられている場合（グローバル グループにも所属）。作成した支払先グループに支払先を割り当てるときは、次の 2 つの支払先アクセス権インポート タイプが利用できます。

- **Excel ワークシート使用によるオンデマンド:** 支払先マネージャーのオプションを使用して、Excel テンプレートとそのアップロードで支払先の割り当てを指定のグループにインポートすることができます。
- **支払先のインポートによるオーバーナイト ジョブ:** インポート/抽出管理者が支払先のインポートの 310 レベル レコード セットを支払先の割り当てに使用します。

インポートを選択する

選択するインポートは、扱う支払先の数に応じて異なります。たとえば、オンデマンドのインポートは 500 レコードまですので、最初の割り当て時または断続的な変更が必要な時に、少数の支払先を扱う場合に最適です。多数の支払先をグループに割り当てる必要がある場合は、オーバーナイト インポートが最適です。

© 2004–2016 Concur Technologies Inc. All rights reserved.

支払先アクセス グループとグループの命名規則を考える

インポートの際に支払先グループを作成する場合は、既存の従業員グループ命名規則を採用するのが最も簡単です。そうすることによって、既存のフレームワークを使用して支払先を対応付けることができます。たとえば、北部門と南部門をグローバル グループの下で同等の従業員グループとして使用している場合、同じように支払先グループに命名すれば、インポートによる対応付けで混乱を減らすことができます。

さらに、北と南に特定の部門または地域があり、ユーザーを割り当てる必要がある場合、必要な特性を持たせるために、同じ支払先を異なる住所コードで指定する必要があります。これは、属性によってユーザーの選択できる支払先を制限することによって支払先を支払リクエストに割り当てる際のエラーを減少させる利点があります。

本ドキュメントで使用する命名規則

一貫性と説明のしやすさのために簡易化した命名セットおよびレベル（この場合、部門名、すべて単一で同等レベル）をグループと支払先グループに使用しています。類似の規則にする必要はありません。たとえば、現場では、グローバル - 北部 - 北西部 - 北北西部のような複数レベルの指定の支払先グループ階層が採用されることがあります。

命名規則: グループと支払先グループ

下の表に、ソース リストと支払先アクセス グループ名、およびこのドキュメントの例で使用されているコードを示します。

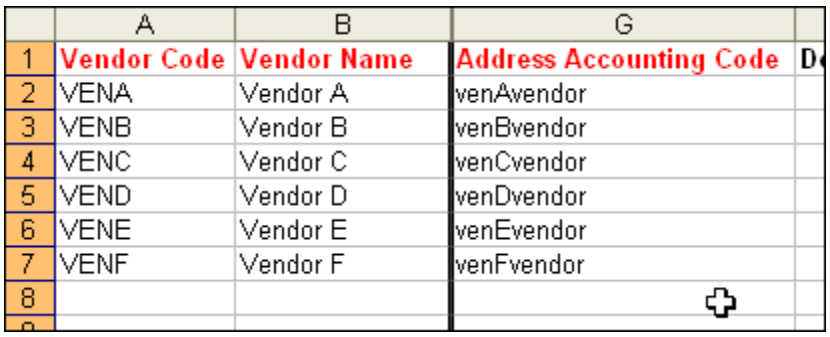
ソース リスト名	グループ名/グループ パス	レベル <#> コード (インポート用)
東部門	東部門/グローバル - 東	東
北部門	北部門/グローバル - 北	北
南部門	南部門/グローバル - 南	南
西部門	西部門/グローバル - 西	西

本ドキュメントでは以下の支払先の命名規則も使用されています:

© 2004–2016 Concur Technologies Inc. All rights reserved.

支払先名	支払先コード	住所勘定科目コード（インポート用）
支払先 A	VENA	venAvendor
支払先 B	VENB	venBvendor
支払先 C	VENC	venCvendor
支払先 D	VEND	venDvendor
支払先 E	VENE	venEvendor
支払先 F	VENF	venFvendor

例として、オンデマンドの支払先インポートは、Excel ワークシート内で以下のようになります（非表示セルのビューに注意）。



	A	B	G
1	Vendor Code	Vendor Name	Address Accounting Code
2	VENA	Vendor A	venAvendor
3	VENB	Vendor B	venBvendor
4	VENC	Vendor C	venCvendor
5	VEND	Vendor D	venDvendor
6	VENE	Vendor E	venEvendor
7	VENF	Vendor F	venFvendor
8			

その他の文書

この機能を構成するのに各種ツールが必要であることは、本ドキュメントで簡潔に触れていますが、各ツールについてその他のガイドやインポートの仕様などの総合的なドキュメントがあります。

以下が対象の文書です:

- **リスト管理:** 共通設定ガイド: リスト管理
- **機能階層:** 共通設定ガイド: 機能階層
- **グループ構成:** 設定ガイド: 請求書処理 グループ構成

© 2004–2016 Concur Technologies Inc. All rights reserved.

- **従業員の支払先へのアクセス権インポート:** ユーザー ガイド「請求書処理: 支払先のアクセス対応付けインポート」 または 「請求書処理: - ファイルのインポートと抽出の仕様」の第 4 章「承認済支払先のインポート - 請求書処理 V3」 (現行バージョン) の 310 レコード セット
- **フォームとフィールド:** 共通設定ガイド: フィールドおよび共通設定ガイド: フォーム
- **ユーザーのアクセス許可:** 共通ユーザー ガイド: ユーザー管理

NOTE: 管理者は、構成に必要な請求書処理ツールへのアクセス権を持っていない場合があります。ご不明な点がございましたら、 Concur クライアント サポートまでお問い合わせください。

セクション 3: 請求書処理モジュールに従業員の支払先へのアクセス権を設定する

いくつかのツールを使用して、ユーザーに割り当てる支払先グループを作成します。支払先を支払先グループに割り当てるタスクは、インポートで行います。以下のステップですべてのツールについて説明しています。

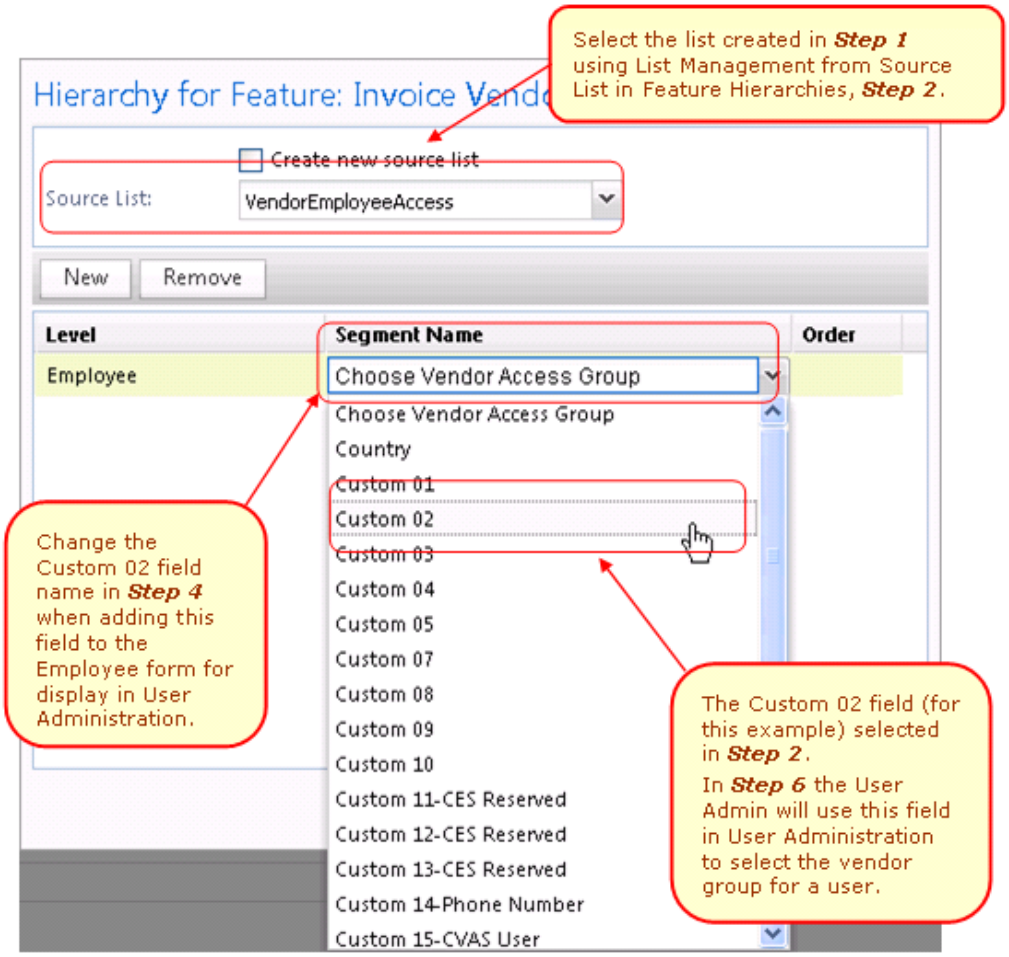
ステップの概要

管理者は、次のツールを指示された順序で使用して機能を構成します。すべてのタスクは、特に注釈のない限り、請求書処理の構成管理者のロールが必要です。

- 従業員の支払先アクセス権階層に適合するようにソース リストを作成し、支払先グループを作成します。そしてリスト フィールドを従業員フォームに追加します:
  - **ステップ 1:** リスト管理
  - **ステップ 2:** 機能階層
  - **ステップ 3:** グループ構成
  - **ステップ 4:** フォームとフィールド

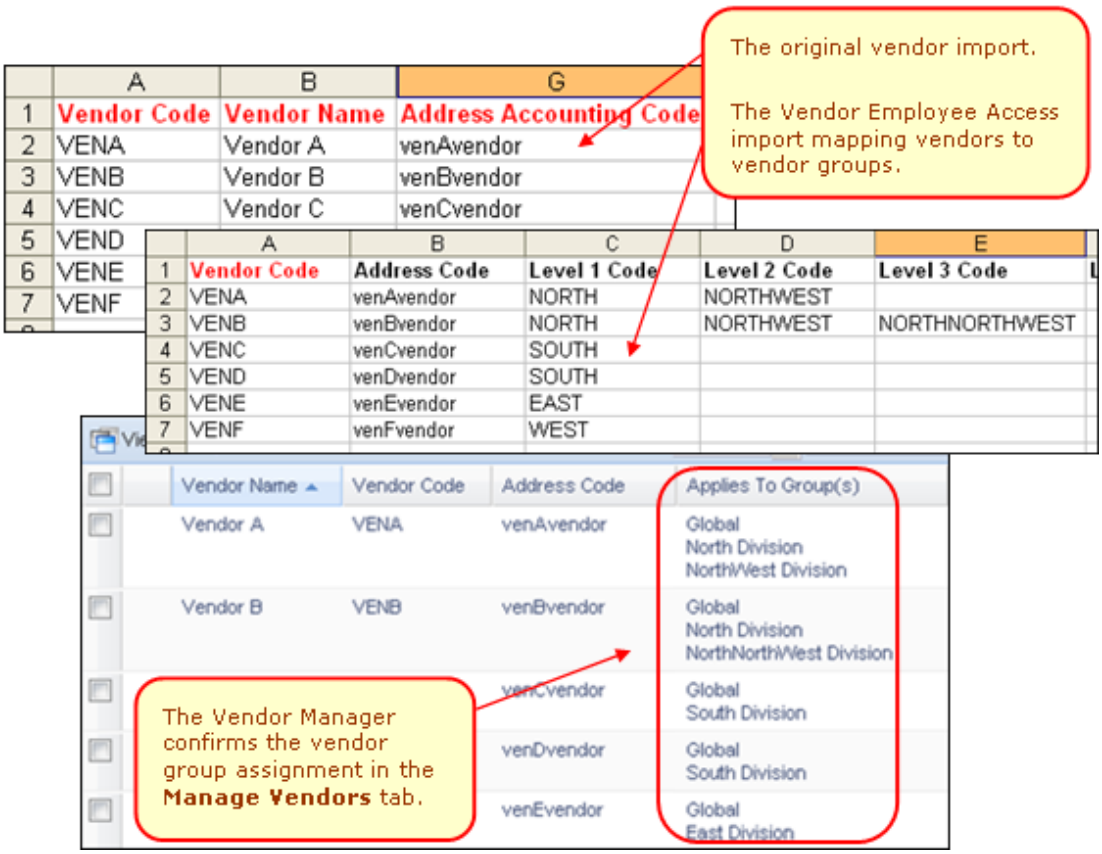
© 2004–2016 Concur Technologies Inc. All rights reserved.

以下の図は、**ステップ 2** の説明です。明確に説明するため、その他のステップとあわせて記載しています。



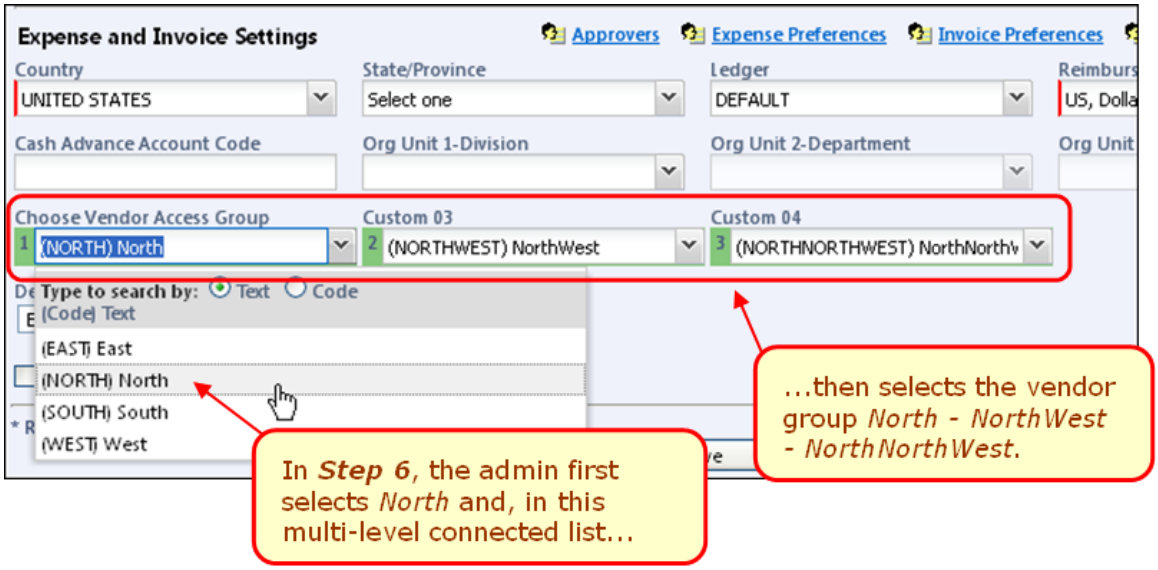
- **ステップ 5:** 従業員の支払先へのアクセス権インポート (オプション*: 310* レベルのレコード セットでのインポート/抽出管理者オーバーナイト支払先インポート フィード)

© 2004–2016 Concur Technologies Inc. All rights reserved.



- **ステップ 6:** ユーザー管理 (ユーザー管理者)

  ユーザー管理者はユーザー管理にアクセスし、ステップ 6 に新しく追加されたフィールドを使用して、下図の支払先グループを選択します:



© 2004–2016 Concur Technologies Inc. All rights reserved.

ステップ: 請求書処理モジュールに従業員の支払先へのアクセス権を設定する

支払先グループを適切に構成するには、以下のステップに従ってユーザーにアクセスを許可する支払先のグループに割り当てます。

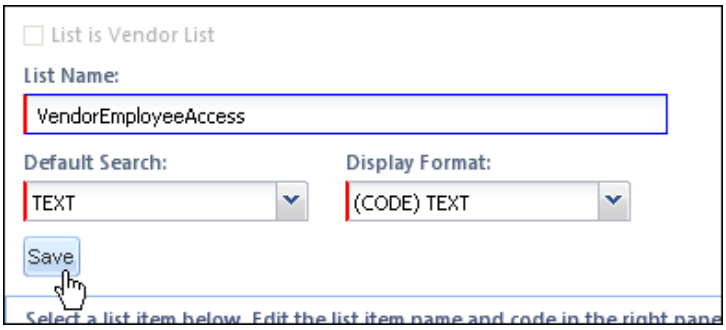
ステップ 1: リスト管理のソース リストを作成する

ソース リストは、支払先を割り当てる先の支払先グループになる階層構造です。リスト名を現在の従業員グループ構造に合わせると最良ですが、この機能を実装するのに必須ではありません。

📖 詳細情報は、設定ガイド「製品共通: リスト管理」をお読みください。

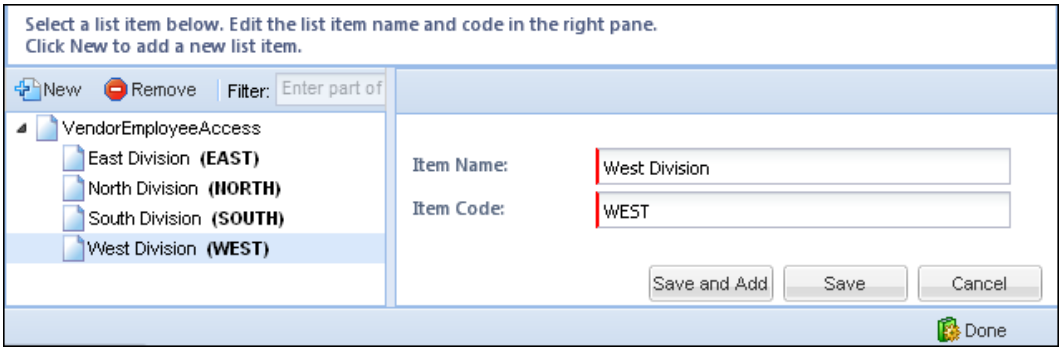
ソース リストを作成するには:

1. **[管理]** > **[請求書処理]** をクリックします。
2. **[リスト管理]** （左側メニュー）をクリックします。**[リスト管理]** ページが表示されます。
3. **[新規]** をクリックして**[新規リスト]** ページを開きます。
4. **リスト名**に記述名を付け、**[保存]** をクリックします（以下は例です）。



5. リスト名を選択し、**[新規]** をクリックして、ソース リストとして機能するリスト項目の作成を開始します（下の例では、4 つの部門が指定の支払先グループとして機能します）。

© 2004–2016 Concur Technologies Inc. All rights reserved.



項目コード値を記録します。この正確な参照は、支払先コード値によって支払先アクセス値をインポートする時に使用します。

6. **[保存して追加]** をクリックして、各リスト項目を追加します。

7. (任意): 多層の連結リストでは、リスト項目のどれかを選択すると、必要に応じて下位レベルへの追加が続行されます。

8. すべてのリスト項目が追加されたら **[完了]** をクリックします。

NOTE: 各リスト項目のコード フォーマットは、インポート時に入力したものと一致するよう正確に入力する必要があります（例: EAST; NORTH）。データ ファイルを作成する際、または後のステップで従業員の支払先へのアクセス権インポートの Excel ワークシートに書き込む際には、これらを書きとめるか手元に用意します。

ステップ 2: 機能階層をソース リストに関連付ける

このステップでは、ステップ 1 で作成したソース リストを請求書処理の従業員の支払先へのアクセス権階層に関連付けます。多層のリストが作成された場合は、リスト レベルと一致するようにレベルとセグメントを追加します。

📖 詳細情報は、設定ガイド「製品共通: 機能階層」をご覧ください。

ソース リストを機能階層に対応付けるには:

1. **[管理]** > **[請求書処理]** をクリックします。

2. **[機能階層]** （左側メニュー）をクリックします。**[機能階層]** ページが表示されます。

© 2004–2016 Concur Technologies Inc. All rights reserved.

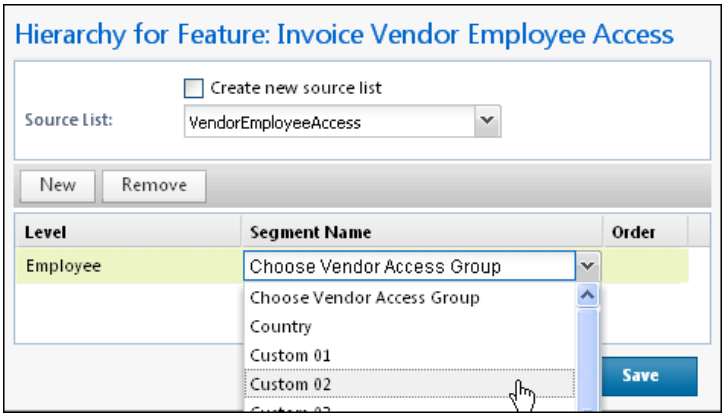
3. 請求書処理の支払先従業員アクセスを選択して、**[階層の修正]** をクリックします。

4. **ソース リスト**で、ステップ 1 で作成したリスト名を選択します（この例では、VendorEmployeeAccess）。

5. **[新規]** をクリックして、**[レベル]** の値として従業員を追加します（これは既定で変更できません）。

6. **[セグメント名]** リストで、ユーザーの支払先アクセス グループを選択する [ユーザーのアクセス許可] のリストとして機能するフィールドを選択します。

NOTE: 以下の例では、カスタム 02 は *[Choose Vendor Access Group]* に名前変更され、本ドキュメントの例に使用されます。ステップ 4 に、カスタム フィールドの名前を変更するオプションがあります。



7. (オプション): 多層の支払先グループ（レベル 1; レベル 2; レベル 3）を指定する場合、この時点で適合するレベルとセグメントを追加します。

8. **[保存]** をクリックします。

ステップ 3: グループ構成で支払先グループを指定する

このステップでは、ステップ 1 で作成しステップ 2 の機能階層に適合したソース リスト レベルに合うグループを作成します。

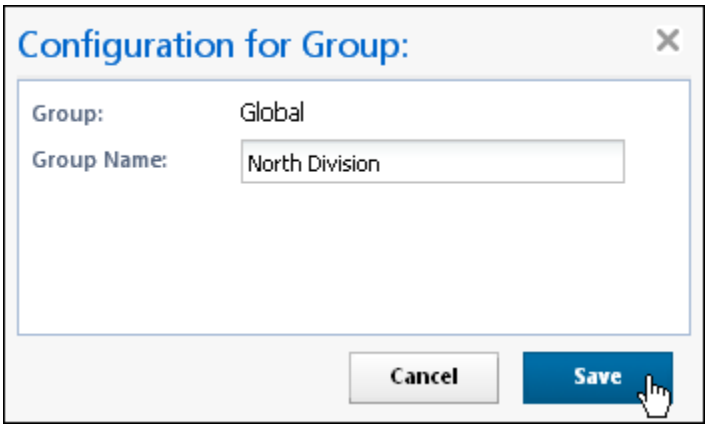
📖 詳しくは設定ガイド「請求書処理: グループ構成」をご参照ください。

© 2004–2016 Concur Technologies Inc. All rights reserved.

支払先グループを指定するには:

1. **[管理]** > **[請求書処理]** > **[グループ構成]** （左側のメニュー）に進みます。
2. **[支払先アクセス]** タブをクリックします。
3. **[新規]** をクリックして **[グループの選択]** ウィンドウを開きます。
4. グローバル リストをクリックして開き、グループ名を選択し、**[完了]** をクリックします。

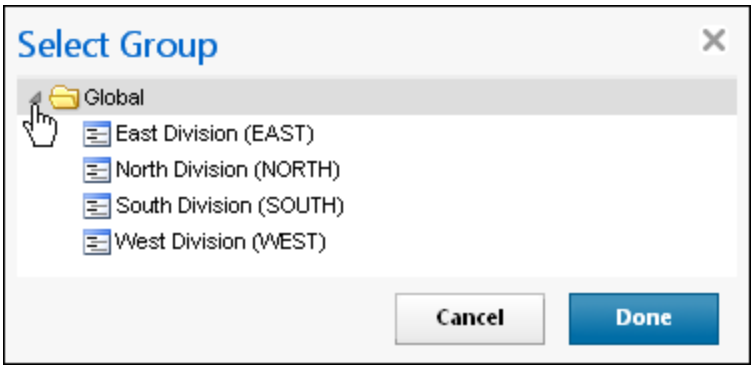
   多層リスト: サブグループを選択するには、さらにリストを開き、そのレベルでグループ名を選択して **[完了]** をクリックします。
5. **[グループに対する構成]** ウィンドウで、支払先グループ名を入力して **[保存]** をクリックします。指定のグループがステップ 1 でソース リスト用に作成した名前と一致するまでこれを繰り返します。



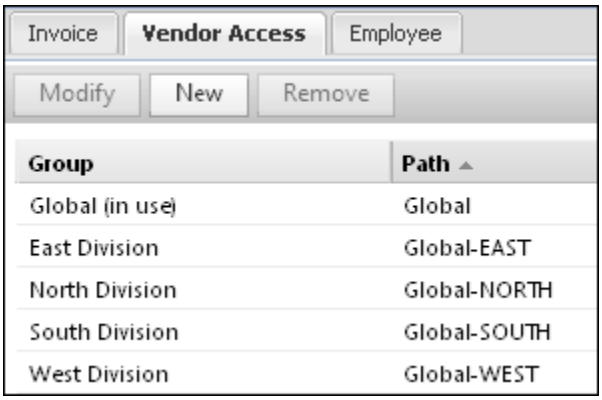
命名規則: この例では、名前が既存のコードと一致する必要はないため、記述的な名前でも構いません。システムに既存のグループ名にすることはできません。

© 2004–2016 Concur Technologies Inc. All rights reserved.

下図では、ステップ 1 で作成されたソース リスト項目に合う 4 つの部門が追加されています。



6. 完了したら、グループ構成の **[支払先アクセス]** タブが下図と同様に表示されます。



ステップ *4:* カスタム フィールドを従業員フォームに追加する

このステップでは、機能階層ステップ（ステップ 2）で指定したフィールド（カスタム 02）を従業員フォームに追加します。これによって、このフィールドは [ユーザー管理] > [経費および請求書処理の設定] ページに表示され、管理者がユーザーの支払先グループを選択することができます。

NOTE: たとえば、グローバル - 北 - 北西 - 北北西などのように多層の支払先グループ リストを作成した場合は、**[連結リスト]** タブを使用します。

▸ **従業員フォームにソース リスト フィールドを追加するには：**

1. **[管理]** > **[請求書処理]** に進みます。

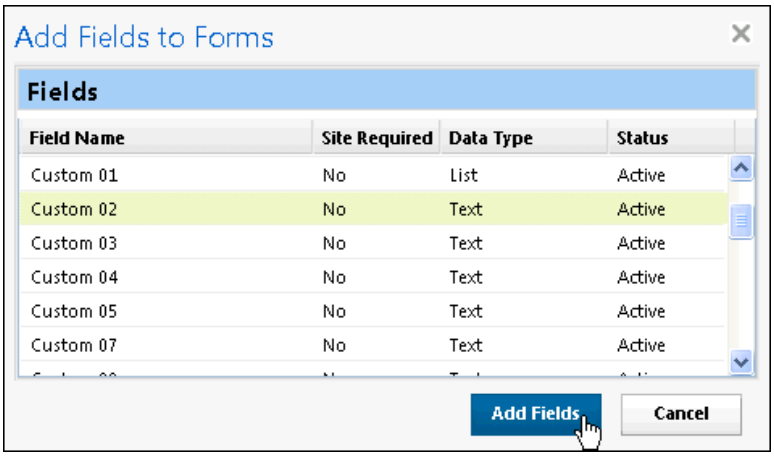
© 2004–2016 Concur Technologies Inc. All rights reserved.

2. **[フォームとフィールド]**（左側メニュー）に進みます。**[フォームとフィールド]** ページが表示されます。

3. **[フォーム タイプ]** で従業員を選択します。

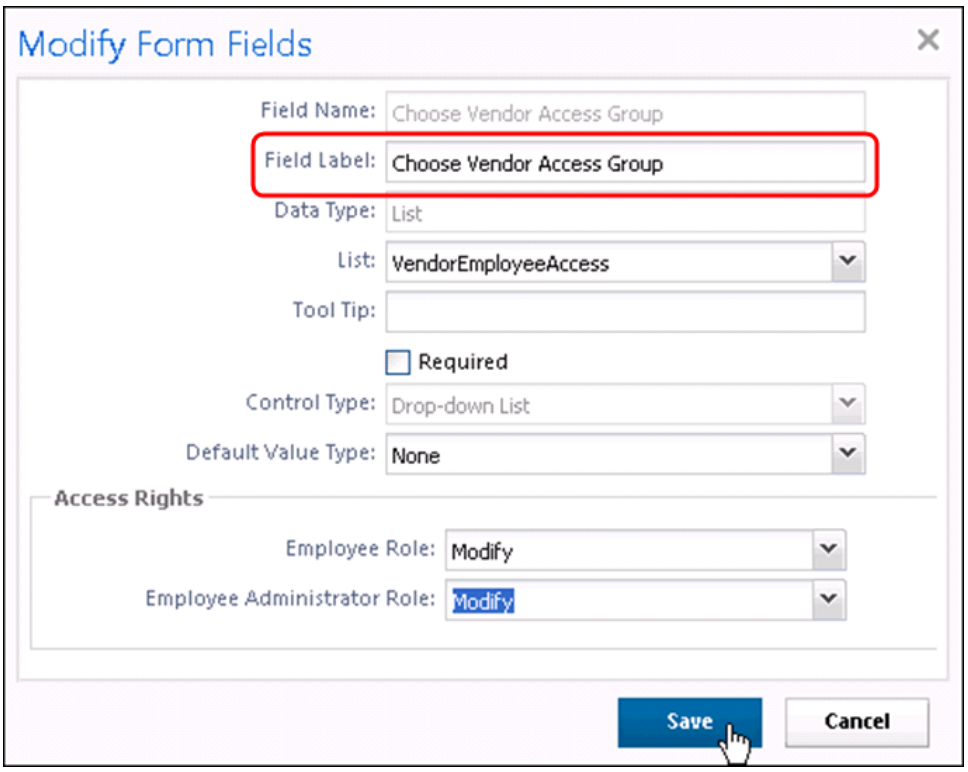
4. **[フォーム]** タブで、最初に **[フォーム名]** を選択し、**[フィールドの追加]** をクリックします。

5. **[フォームへのフィールドの追加]** で、フィールド（下の例では Custom 02）を選択し、**[フィールドの追加]** をクリックします。複数のレベルを追加する場合はこの手順を繰り返します。

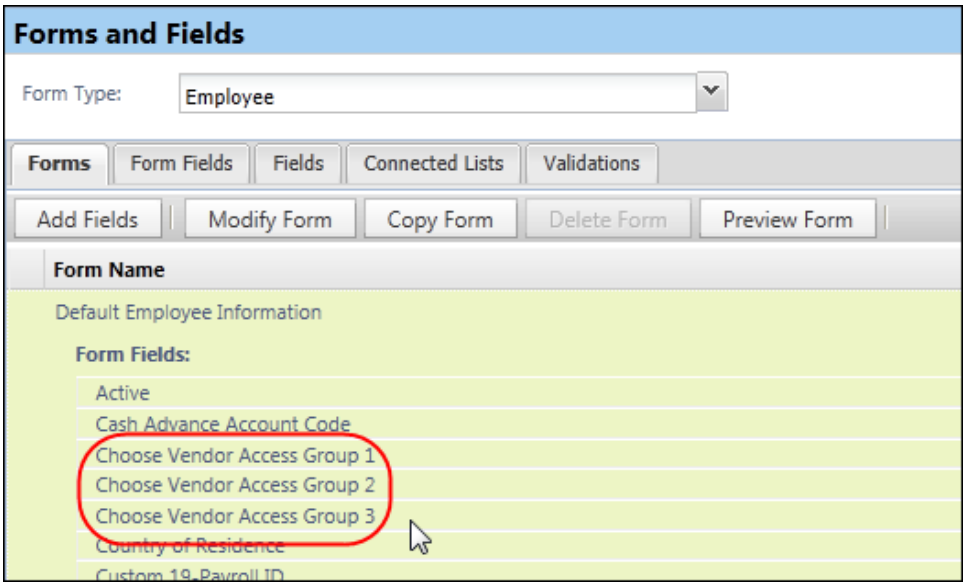


6. (オプション): フィールドの名前を変更するには、**[フォーム フィールド]** タブで、追加したフィールドを選択し、**[フォーム フィールドの修正]** をクリックして フィールドの名前を変更し、**[保存]** をクリックします。

© 2004–2016 Concur Technologies Inc. All rights reserved.

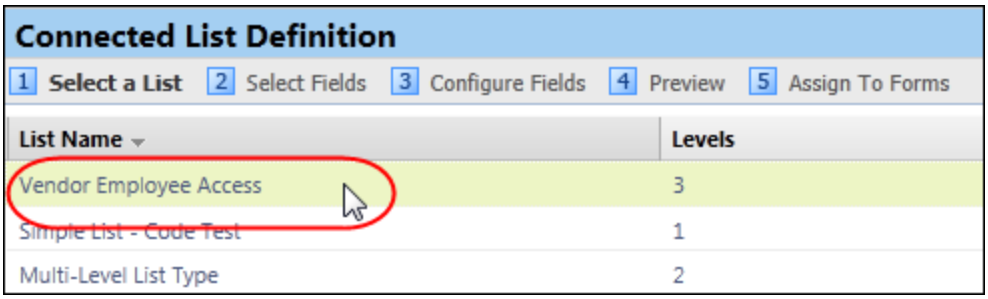


フィールドには下図に近い内容が表示されます。



7. (オプション): 多層リストを作成する場合、**[連結リスト]** タブをクリックして最初にリストを選択することによりフィールドを構成し、ステップを実行します。

© 2004–2016 Concur Technologies Inc. All rights reserved.



📖 詳細情報は、設定ガイド「請求書処理: リスト管理」をお読みください。

これで、フィールドが単一または多層（連結）リストとして従業員フォームに追加され、ユーザー管理者が支払先グループ階層を選択することができます。

ステップ 5: 支払先のアクセス対応付けインポートを使用して支払先をグループに対応付ける

このステップでは、請求書処理の支払先のアクセス対応付けインポートを使用して、前のステップで作成したグループに支払先を関連付けます。インポートは、支払先をあるグループから別のグループに移動する場合や、対応付けを完全に削除する場合にも使用されます。合計 500 レコードまでのシステム制限があります。

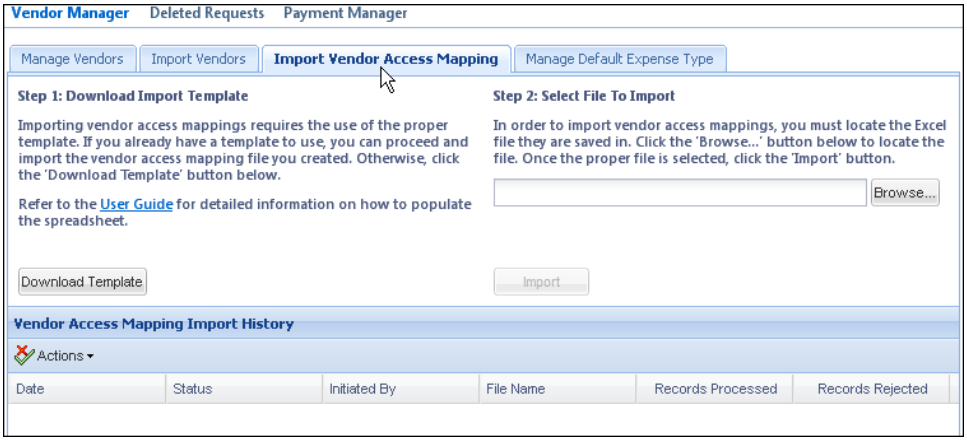
📖 詳しい情報は、ユーザー ガイド「請求書処理: 支払先のアクセス対応付けインポート」または 「請求書処理 - ファイルのインポートと抽出の仕様」マニュアの第 4 章「承認済支払先のインポート - 請求書処理 V3 (現行バージョン) をお読みください。

▸ **支払先のアクセス対応付けインポートを使用し、支払先をグループに対応付ける方法:**

1. **[請求書処理]** > **[支払先マネージャー]** をクリックします。

© 2004–2016 Concur Technologies Inc. All rights reserved.

2. **[支払先のアクセス対応付けをインポート]** タブをクリックします。



3. ステップ 1 の **[テンプレートのダウンロード]** をクリックして、支払先従業員アクセス Excel テンプレートをダウンロードします。

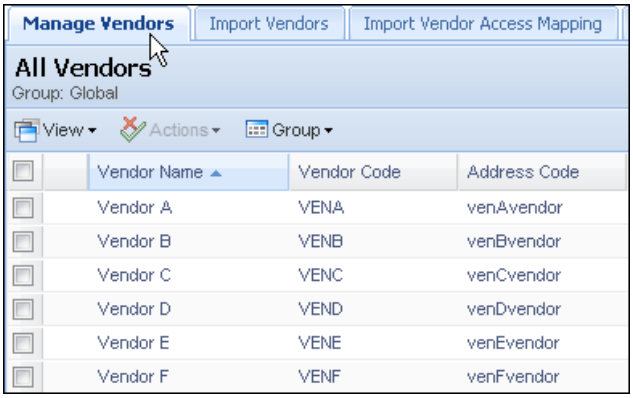
4. 赤字で示された必須フィールドに値がすべて入力されるように、テンプレートに入力します。

   本ドキュメントにて使用されている命名規則に沿ったサンプル テンプレートは以下になります。アクション列の 値「A」は、前のステップで作成されたとおり VENA が指定の業種グループ NORTH に対応付けられることを示しています。

	A	B	C	L	M
1	**Vendor Code**	**Address Code**	**Level 1 Code**	**Level 10 Code**	**Action?**
2	VENA	venavendor	NORTH		A
3	VENB	venbvendor	NORTH		A
4	VENC	vencvendor	SOUTH		A
5	VEND	vendvendor	SOUTH		A
6	VENE	venevendor	EAST		A
7	VENF	venfvendor	WEST		A

   重要: 上の例では、支払先コードと住所コードの値は既存のインポートされた支払先コード値と正確に一致しなければなりませんのでご注意ください。これらの値は、**[支払先の管理]** タブをクリックして表示される値を参照することにより確認できます。

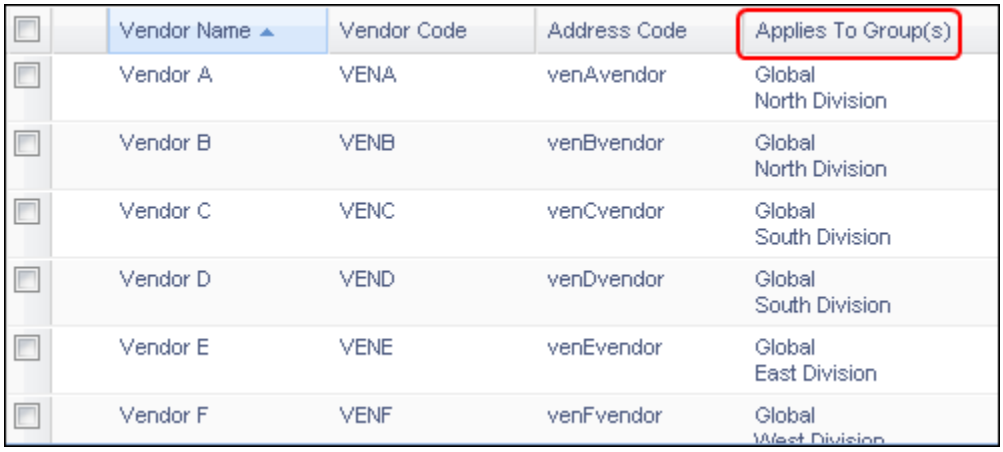
© 2004–2016 Concur Technologies Inc. All rights reserved.



5. **[参照]** をクリックして、ローカル マシンからファイルを読み込みます。

6. インポートを開始するには、**[インポート]** をクリックします。

インポート割り当ての結果は、**[支払先の管理]** タブの **[グループに適用]** 列の値を確認することによって検証することができます。



ステップ 6: ユーザーの支払先アクセス グループを選択する

このステップでは、ユーザー管理者がユーザーの支払先グループを指定します。このグループは、支払リクエストの作成時にユーザーが読み込める支払先のセットを定義します。

指定の支払先グループをユーザーに割り当てる方法:

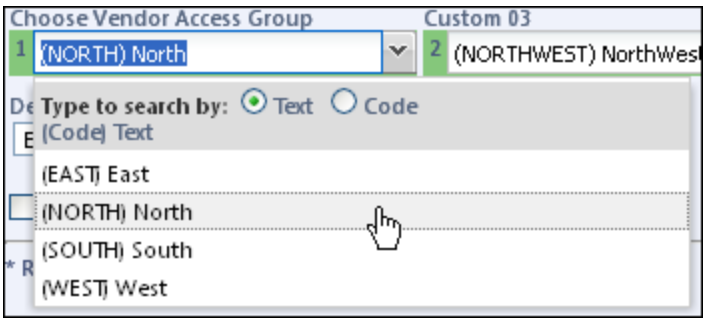
1. **[管理]** > **[会社]** > **[組織管理]** をクリックします。

2. **[ユーザー管理]** （左側メニュー）をクリックします。

© 2004–2016 Concur Technologies Inc. All rights reserved.

3. 検索オプションを使用して、割り当てを受け取るユーザーを選択します。

4. **[経費および請求書処理の設定]** で、指定の支払先グループをリストから選択します。

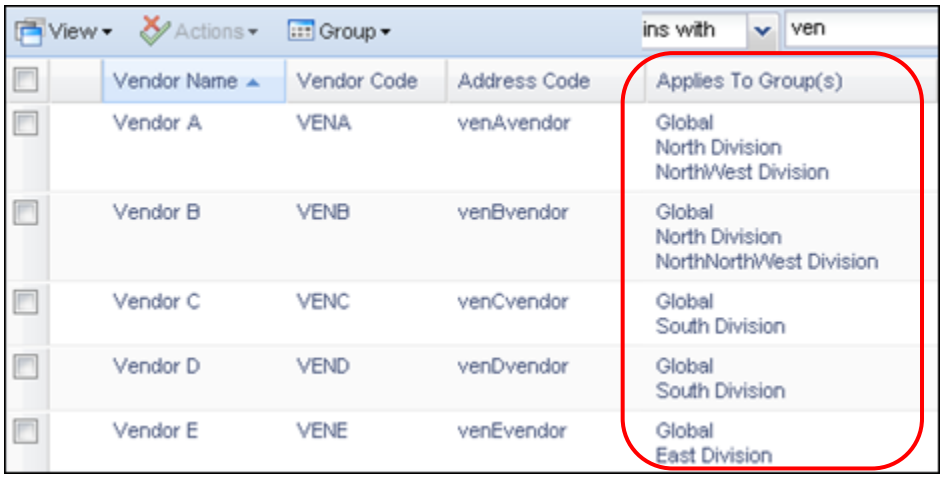


5. **[保存]** をクリックします。

ここで、ユーザーが支払リクエストを作成する時、インポートによって（たとえば）北部門に割り当てられている支払先のみが選択可能になります。

セクション 4: 支払先管理者への表示

支払先管理者は、支払先グループが構成され支払先が割り当てられた時に表示される **[支払先の管理]** タブの [グループに適用] 列を使用します。この列は、どのグループ支払先がインポートによって割り当てられているか判断するクイック参照として機能します。



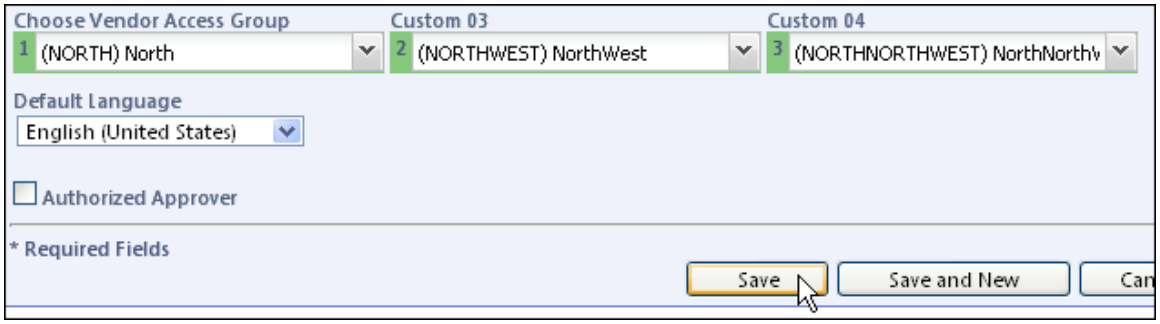
📖 詳細情報については、ユーザー ガイド「請求書処理: 支払先マネージャー」をご参照ください。

© 2004–2016 Concur Technologies Inc. All rights reserved.

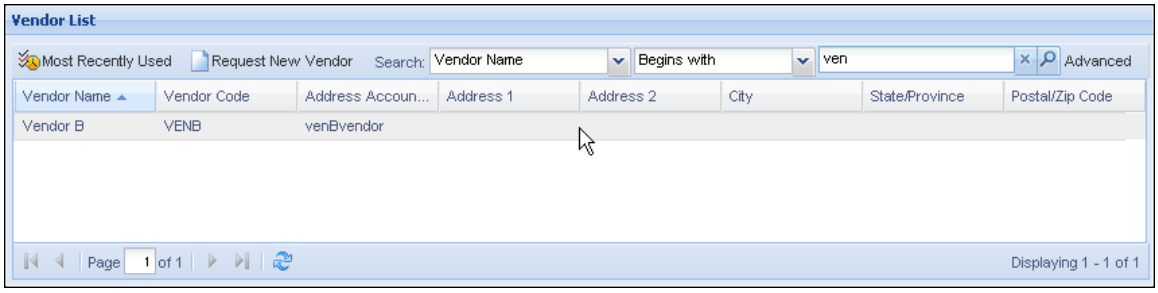
セクション 5: ユーザーへの表示

ユーザー管理者がユーザーの支払先グループを選択すると、そのユーザーはそのグループに割り当てられたすべての支払先を読み込めますが、それ以外は読み込めません。すべての検索機能、支払先選択、および新規支払先をリクエストする機能は、支払リクエストの作成時に付与されます。請求書処理リクエストに割り当てられる支払先のサブセットの制限のみが強制されますが、ユーザーの側では操作上の変化はありません。

下図で、Erin はユーザー管理における **[支払先アクセス グループを選択]** 連結リストフィールドから北北西支払先グループを割り当てられています。



北北西支払先グループには、支払先 B のみが含まれるため（上図の「管理者への表示」を参照）、支払リクエスト作成時に支払先 Erin に表示されるのは支払先 B となります。下図では、Erin は検索基準として「*ven*」と入力されており、これが、グローバル グループ内の場合、6 つの支払先が表示されます。しかし、割り当てられた支払先グループのフィルターにより、確実に支払先 B のみが利用可能として表示されます。



© 2004–2016 Concur Technologies Inc. All rights reserved.

新規支払先リクエストを作成した場合:

ユーザーが新規支払先を申請すると、その支払先がグローバル グループと、支払先を申請するユーザーが割り当てられているグループの両方に自動的に割り当てられます。つまり、たとえば Erin が支払先グループ階層グローバル - 北 - 北西に所属している場合、新しく申請された支払先は北西階層ノードに割り当てられることになります。

© 2004–2016 Concur Technologies Inc. All rights reserved.